

下久知集落の熱意が実り、 特色ある『下久知郷土史』刊行！



「葬儀の方法といった身近な話題を取り上げるなど、一般的な郷土史よりも、わかりやすい内容にするよう心がけた。」

この郷土史では、集落の現状と将来のあり方についても記し、これまでの郷土史ではない斬新な発想で刊行することができた。

ご指導していただいた本間恂一先生、斎藤寿一郎先生のお力が最も大きいですが、集落の全員の協力を得て編さんされた郷土史。

ほかの集落の郷土史とは違う郷土史となったと自負している。」

刊行を成し遂げた郷土史編さん委員会の皆さんは、笑顔で話してくれました。

8月5日に発刊記念報告会が行われ、苦勞した点や喜びの声などお話を聞きしました。

下久知集落の皆さんは、およそ9年7カ月にわたって郷土史編さん事業に取り組み、7月におよそ450ページにも及ぶ下久知郷土史を完成させました。



下久知郷土史



報告会の様子

※下久知郷土史は、市に寄贈していただきましただけで、市内の図書館や図書室でご覧になれます。

編さんにあたり、下久知出身で新潟県史編さんに携わられた元高校校長の本間恂一さん、元中学校校長の斎藤寿一郎さんが尽力されました。

斎藤寿一郎 先生



集落所有の文書や個人宅、両津博物館、佐渡総合高校などから貴重な資料を見せてもらい、編さんの参考にした。

資料や写真の提供など、下久知集落の皆さんの協力も大きかった。

本間 恂一 先生

下久知集落は未来永劫続いていく。

編さん委員の皆さんの真摯な活動を見て若い人も、それを継承してくれるだろう。



編さんにあたり、文献を確認するだけでなく、いろんな方から貴重な話を聞くことができた。

このような体験談の聞き取りは、特筆すべき成果の一つとなった。

**皆さんも、愛する集落を形に残して、
未来へつなげてみませんか！**